

安心・安全で元気な地域づくりを目指して 柏崎市コミュニティ推進協議会だより

令和6年
12月5日発行

No.23

柏崎市コミュニティ推進協議会（通称 コミ協）とは…

市内全域の27地区のコミュニティ協議会で構成された組織です。協議会では、各地区の地域づくりの中心的役割を担うコミセン職員が集まり、研修や広報活動を通じて各コミュニティの抱えている地域課題の解決に向けた取組を行っています。

バックナンバーは
こちらから→



推進協議会の研修報告① 新任者研修

令和6年6月11日、市役所一階多目的室で新任者研修を行いました。

この研修は、昨年度開催し、継続してほしいという要望を受けて今年度も実施したものです。

主に新任のコミセン職員のために、コミュニティ制度などの基礎知識を学ぶ研修は、和やかな雰囲気が進められました。

第一部では「柏崎市のコミュニティ制度」と題し、市民活動支援課から説明を受けました。コミセンと公民館が一体となった「柏崎方式」のコミュニティ制度の目的、役割などを聞き、参加者からは、「コミセン

の役割を認識し、地域の課題解決に繋がっていきたい。」といった感想が聞かれました。

第二部は、前回も好評だった意見交換会です。先輩職員や新任者同士で業務などについて相談・共有することで、心が軽くなった方が多かったようです。グループ発表では、「地域との関わりを多く持つことが大事。」などの意見が出ました。

コミセン職員同士の交流により、新たな発見があったようです。新任者だけでなく、長くコミセンに携わる方々にも刺激のある研修だったのではないのでしょうか。



推進協議会の研修報告② センター長研修

令和6年9月5日に産業文化会館でセンター長研修を行いました。地域づくりの中心的役割を担うセンター長の業務に関する情報交換を目的とし、研修後には懇親会を行い参加者同士の交流を深めました。

研修では、市民活動支援課から「地域づくりの中心を担うコミュニティが果たす役割」と「コミュニティセンターの指定管理者制度」について話題提供を受け

ました。その後、センター長の仕事内容やコミセンの管理運営などをテーマに5グループに分かれて意見交換を行いました。

参加者からは、「同じような悩みを抱え、試行錯誤をしながら運営していることがわかった。」「コロナ禍を経て久しぶりにセンター長同士で集まることができて良かった。」といった感想が聞かれました。





西中通コミュニティセンター

所在地
柏崎市橋場町15番6号
TEL/FAX 0257-24-3728

西中通コミュニティセンター運営協議会

センター長

田村 幸蔵 さん



●コミュニティセンターの紹介

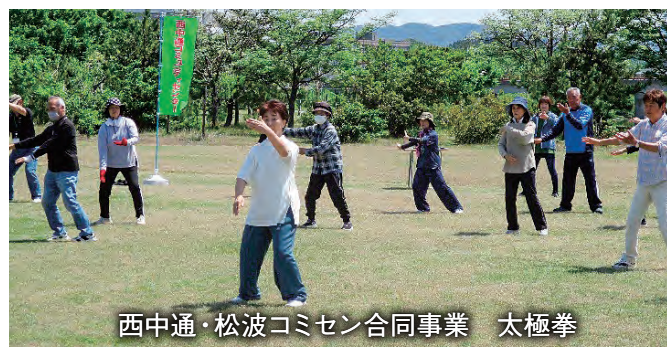
西中通コミュニティセンターは、昭和51年3月に市内で3番目に開設され、令和7年に創立50周年を迎えます。当コミセンは越後線の近隣に建ち、住宅と畑に囲まれている長閑な場所で、春には桜が建物を飾ってくれるインスタ映えするところですよ。

●地域の紹介

西中通地区は、10町内、2,418世帯、人口5,864人(令和6年7月現在)により形成されています。新潟柏崎伝統野菜の一つに掲げられている「刈羽節成きゅうり」発祥の地で、現在は地元農家と榎原・日吉小学校両校の児童が生産しています。

●活動の紹介

平成4年に小林神泉様から寄贈された「心ふれあう西中通」の書を合言葉に、常任委員会と3つの専門部会、各種団体が協力し合い地域の特性を活かした事業を行っています。毎年開催している「西中通秋の感謝祭」では、「にしなか菜々彩工房」が漬物にした「刈羽節成きゅうり」を榎原・日吉小学校両校の児童と一緒に販売を行ったり、地元菜園家さんの野菜販売や縁日、地域の園児や児童と一般者の作品の展示等で子どもからお年寄りまでが楽しめる催し物となっています。



西中通・松波コミセン合同事業 太極拳



健康体操教室



認知症予防講座



夏休み工作教室



西中通秋の感謝祭
節成きゅうり漬物の販売を手伝う小学生



西中通秋の感謝祭



二田コミュニティセンター

所在地
柏崎市西山町坂田5155番地
TEL/FAX 0257-48-2074

二田地区コミュニティ振興協議会

センター長

椎谷 幸夫 さん



●コミュニティセンターの紹介

平成17年6月に移転・新築された二田コミセンは、地域の拠点として文化・体育分野で多くの皆様からご利用をいただいております。

場所は国道116号線に面した坂田地区にあり、11の町内会で構成され約730世帯、1,750人が暮らす比較的小規模なコミセンです。

●地域の紹介

当コミセンは隣にスーパーやドラッグストアなどがあり、賑わいのある地域に立地しています。西山ICも至近距離にあり、シーズンになると石地海水浴場などに向かう県外車の通過ルートになっています。

近隣には道の駅があり「西山ふるさと公苑」「田中角栄記念館」等を利用・見学することができます。

また10月から3月頃まで長嶺大池に約400羽の白鳥が飛来し、多くの観光客が訪れています。

●活動の紹介

当部会は「学習健康部」「環境対策部」「地域活性部」「運動会委員会」があり、それぞれ講座や研修、先進地訪問他、多くの企画を立案しています。中でもニュースポーツ大会は子育て世代の参加がとて多いイベントとなっています。

特色ある事業としては「二田コミセンそば打ち同好会」があります。現在会員は14名で第4土曜日の午前中に集まって腕を磨いています。またここから巣立った3名が、起業し「そば処ふただ亭」(営業日:水曜・土曜・日曜)を営んでいます。是非一度、暖簾をくぐってください。私は「天ぷら付きもりそば」を一推しします。



西山 敬老会



シモダ産業 SDGs見学



モルック大会

推進協議会の研修報告③ 主事研修

令和6年9月10日、中山間地域の取組や協働の在り方を学ぶことを目的に、コミュニティバスで主事研修に行ってきました。

視察先は、旧小学校を改装した宿泊体験交流施設「月影の郷」と土地の風土を活かしたワイナリー「岩の原葡萄園」です。

最初の視察先「月影の郷」では、横尾支配人から講演いただきました。少子高齢化が進む中でも、大学生との協働活動や月影地域の特色を活かしたイベントの開催など、ひたむきに地元と向き合う横尾支配人は、熱意に溢れ、いきいきとしていました。講演後は、稲わらを使って、わらマットづくりにチャレンジ

しました。地域資源を活用したものづくりの大切さや楽しさを体感することができました。

「岩の原葡萄園」では、貯蔵庫と雪室を見学し、冬が厳しいからこそ誕生した岩の原ワインの歴史や魅力を説明いただきました。案内人の明るさと話術に参加者は引き込まれており、「コミセン講座でも飽きさせず参加者の発言を引き出すよう心掛けたい。」といった感想が聞かれました。



コミュニティ研究委員会を設置

今年度、コミセン職員の待遇改善をはじめとした様々な課題に関する議論を行うため、研究委員会を設置しました。

各郷から2名ずつ選任された委員とコミュニティ推進協議会の会長、副会長をオブザーバーに迎えて、これまで計6回の会議を開催し、活発な意見交換を行っています。

近年の社会情勢の変化に合わせた見直しの必要性から、まずはコミセン職員の賃金等における待遇面での改善について議論を行いました。そして、待遇改善に

必要な支援を市への要望事項という形でとりまとめたところです。年度内を目途に議論を進めていきます。



広報部会の取組

今年度広報部会では、地域の情報や魅力をより広く伝えることを目的に、新たな取組としてFMピッカラと連携し、「ラジオを用いたコミュニティ情報の発信」を始めました。

コミセン職員や学生がラジオ出演し、地域のイベントやコミュニティまつりに関して話していただきました。地域に密着した視点で情報発信することができました。



西中通コミセン センター長取材



南鯖石コミセン センター長取材



比角コミセン 第二中学校の生徒取材